

JESCO 豊田PCB廃棄物処理 事業だより(No.157)

1. 平成29年度安全セミナーについて



豊田PCB廃棄物処理施設では、事故防止のために平成22年度にとりまとめた豊田事業所再生計画に基づき、PCBの無害化処理を安全・確実に実施する上で重要な教育訓練として、今年度も定期的に安全セミナーを開催いたします。

■平成29年度安全セミナー実施計画

平成29年度は前年度から継続して繰り返し教育するテーマに加え、新たなテーマを取り入れ、安全教育の充実を図ります。

安全セミナーは全従業員を対象として、関係する法令遵守の徹底、過去の事故・トラブル事例による再発防止と水平展開による安全対策の向上、ヒューマンエラー防止対策等をテーマに年間12回開催することとしており、講師は所内の他、外部からもお迎えして開催する予定です。

新年度1回目のセミナーのテーマはPCBの性状、毒性、健康影響、環境中濃度、取扱い上の留意点等の基礎知識について学びました。作業員の暴露防止及び安全管理を促進するものです。

2. 社員提案の表彰

豊田施設では『社員提案制度』を実施しています。これは安全で確実な操業、作業効率化・合理化及びコスト削減等を目指し、社員から随時、自発的に提案してもらい、その実現に向けて検討、準備を行っていくものです。

平成28年度第2回(平成28年10月～平成29年2月分)には全46件の提案がありました。その多くは更なる安全性向上を図るものです。これら提案の実現により、安全・安定的な操業にJESCO及び運転管理会社が一丸となって取り組んでまいります。今回は最優秀賞2件、優秀賞2件、佳作3件を選出し、4月21日の安全集会において表彰しました。



3. 平成28年度環境モニタリング調査結果について

豊田PCB廃棄物処理施設では設備の稼働に伴う環境への影響を確認するため、周辺環境及び排出のモニタリングを実施しています。

平成28年度は4月、7月、10月及び平成29年1月の合計4回調査を実施し、すべて管理目標値、環境基準値等に適合していることを確認しています。

■調査項目及び調査回数

- ①大気：年4回、風下の敷地境界の2地点
(PCB、ダイオキシン類、ベンゼン)
- ②土壌：年1回、敷地内の1地点
(PCB、ダイオキシン類)
- ③地下水：年2回、敷地内の1地点
(PCB、ダイオキシン類)
- ④排気：年4回、事業所内4カ所
(PCB、ダイオキシン類、ベンゼン)
- ⑤ばい煙：年2回、ばい煙発生施設2カ所
(ばいじん、窒素酸化物)



PCB処理事業紹介シリーズ 第26回

豊田PCB廃棄物処理施設では、外壁の大規模補修を行いました。この目的は、雨水侵入の未然防止を図り、建屋内部の処理設備の安全性を担保するためです。

建屋西側外壁のボイラ付近の約1,300平方メートルの範囲について、外壁劣化調査及びシール補修作業を実施しました。

当施設の西面は、建設から約12年経過している上、西陽が当たるため傷みやすい場所です。そのため壁面パネルや接続部のシール劣化具合を調査しました。

建屋内部は、施設外部よりも気圧が低く管理されているため、外壁シールが劣化すると、雨水侵入につながる恐れがあります。不具合箇所は未然に処置し、処理設備の保護に努めています。

また、調査結果に基づき、外壁塗装を実施し、残りの期間安全を確保できるよう、維持管理に努めてまいります。



デジ丸

問い合わせ先

アザランのピーちゃん



中間貯蔵・環境安全事業株式会社(JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話：0565-25-3110 FAX：0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>